

平成26年度（2014年度）
大阪狭山市議会・大阪狭山市PTA連絡協議会
第1回意見交換会まとめ

日 程	平成26年12月7日（日）
時 間	午後4時～
会 場	消防本部トレーニング室

目 次

■ 開催の状況	1
■ 次第	1
■ 意見交換会の様子	2

■開催の状況

- ・開催日時 平成26年12月7日(日)午後4時00分から午後6時00分
- ・会場 大阪狭山市消防本部(トレーニング室)
- ・出席議員 小原 一浩、片岡由利子、北村 栄司、薦田 育子、田中 昭善
徳村 賢、鳥山 健、中井 新子、西尾 浩次、西野 榮一
林 憲一郎、松尾 巧、丸山 高廣、山本 尚生(以上14名)
※議員名は50音順
- ・出席市PTA連絡協議会役員
東小学校 鳥山 泰宏、 南中学校 河盛 聡
北小学校 田野 雅樹、 西小学校 谷 直記
第三中学校 川口 寿裕、 第七小学校 山出 明広
狭山中学校 古川 照人、 南第一小学校 田中 将貴
※PTA会長名は質問順
- ・傍聴 各校役員(副会長、会計、書記)

■次第

- ・開 会
- ・開会挨拶 大阪狭山市議会議長 西尾 浩次
大阪狭山市PTA連絡協議会会長 田中 将貴
- ・開催趣旨説明 大阪狭山市議会 議会改革特別委員会委員長 中井 新子
- ・大阪狭山市の取組みについて(説明)
大阪狭山市議会議長 西尾 浩次
- ・意見交換 大阪狭山市立小中学校PTA各校会長
大阪狭山市議会議員
- ・閉会挨拶 大阪狭山市議会副議長 丸山 高廣
大阪狭山市PTA連絡協議会副会長 谷 直記
- ・閉 会

■意見交換会の様子

◎意見交換会の目的

大阪狭山市のまちづくりや子どもの育成に関わる団体として、大阪狭山市議会と大阪狭山市PTA連絡協議会が意見交換会を開催することにより、共通認識を持ち、共に協力連携することで、まちづくりの促進や青少年健全育成の充実を図ることを目的とする。

◎意見交換会のテーマ

- (1) 子どもの教育や育成方針について
- (2) 現状と今後のまちづくりの取組みについて
- (3) 大阪狭山市の魅力と感じるどころ
- (4) 大阪狭山市PTA連絡協議会と大阪狭山市議会の今後の連携について
- (5) その他

◎意見交換の内容

意見交換は、各校のPTA会長からご質問・ご意見を述べていただき、それに対して議員が回答、また、意見を述べるという形で進められました。意見交換の概要は次のとおりです。

質問・意見など	回答・意見など
<p>4月・5月の市立幼稚園の登園時間は午前中だけだそうですが、もう少し長く預かっていたけるようになればと思います。</p> <p>大阪狭山市に住む子どもたちの約半数は、私立の幼稚園に通っていると聞いています。他市では、市立幼稚園でも3年保育のところがあります。3年保育にしていれば、私立幼稚園に通う割合はかなり減ると思います。</p>	<p>公立幼稚園の、ならし保育が行われています。5月の連休明けからは、週2日ほど午後の保育も行われ、6月から通常保育になっています。半月ぐらいでも早くならないか、市に要請したいと思います。</p> <p>私立幼稚園が3年保育を実施し、公立も3年保育を実施すれば、公立へ通う割合が増えるのではないかとということで、公立幼稚園の3年保育を実施してほしいと要望書が出ていました。来年度から子ども・子育て支援新制度が導入され、幼稚園と保育所を合体させたような認定こども園もあり、私立幼稚園に通う園児がどれだけ公立にもどってくるかも考え、財政的に3年保育の投資が今の時点で必要かを検討する必要があるとして、要望書は不採択になっています。</p>

質問・意見など	回答・意見など
<p>3年、4年保育を望んで私立幼稚園に通わせている家庭もあるので、公立の幼稚園が2年保育の間は、他市のように、私立幼稚園に通わせている家庭には、補助金をもっと出していただきたい。</p> <p>幼稚園の奨励金について、河内長野市は公立がなく私立ばかりで、奨励金が出ていると聞いたことがあります。経済的負担で公立に行きたいが、3年保育を推奨してもらえるのであれば、3年保育が整うまでの間、補助をいただけないか。親が3年保育を望んでいるので、ちょっと押しやってもらえたらと思います。</p> <p>東小学校区の児童数が非常に多く、教室数や運動場がパンク状態です。まだまだ生徒数が増加しそうですが、解決に向けたアクションが必要ではありませんか。学校区編成というか、大胆な線引きなど、そろそろ必要な処置があるんじゃないかなというのには本当に感じます。</p>	<p>私立幼稚園に通っている家庭への補助金、これは就園奨励金のことではないかと思います。市としては、できるだけ公立に行ってほしいという方針から、就園奨励金の額は公立も私立も同じ額の基準で出しています。私立の就園奨励金を上げると、園児がそちらに流れます。新制度では就園奨励費はなくなり、公立も私立も保育料は所得に応じて決まり、同じ額になっていきます。現在公立は月額7,000円、私立は2万5,700円程度ですが、新制度では所得により9,100円とか、2万5,700円とか、その間になっていきます。</p> <p>平成26年度に一部、平成27年度から、就園奨励補助金が、私立幼稚園、公立幼稚園ともお子さんが複数の世帯を対象に増額されました。</p> <p>東小学校の児童数が多く、教室の問題、運動場が狭いこと、これは長年の課題です。学校周辺の敷地は、東側、南側、西側が道路で区切られており、広がりには困難です。拡張するとすれば、竹林を買うしかないが、地主さんの意向もあります。市として粘り強く買収を行っていくしかないと思います。</p>
<p>本市では現在、子どもの医療費は小学校6年生までの補助と伺っていますが、堺市を初め近隣他市では、中学校3年生までが対象で、それがスタンダードではないかなと感じています。</p> <p>大阪狭山市でも中学校3年生までの医療費補助ということをご検討いただくことができないのかと思っています。</p>	<p>この件については、市議会に陳情等があり、委員会等で検討してきました。12月議会で、来年4月1日から実施という議案が提案されています。可決すれば、平成27年4月1日から中学校まで、医療費補助をできるようになります。ただ、ご承知だと思いますが、1回500円、2回で1,000円要ります。同月に3回以上かかると、月額が2,500円を超えた分は申請していただきましたら、お返しできると思います。高校生までということになりますと、ちょっと、時間がかかるかなと感じております。</p>
<p>大阪狭山市には他の市町村にない狭山池やSAYAKAホールがあります。大阪狭山市主催で、例えば、趣向を凝らしたマラソン大会や映画祭、グルメまつり、ドッジボール大会等を開催し、まち全体の活性化につなげるべきではないですか。もう一つは狭山池で毎年、狭山池まつりが開催され、とてもにぎわっていて、大人も子どもも楽しんでいます。他市の方たちにもたくさん来ていただけるようなイベントがもう少しあればよいと思います。</p>	<p>今行われている狭山池のイベントでは、春は桜まつり、冬はイルミネーションの点灯を行っています。狭山池博物館では年間通じて、いろんな催しが行われています。狭山池が2016年に築造から1400年を迎えることを記念し、狭山池築造1400年記念事業をしようということになっています。隣接市町村の方々にも来ていただく機会づくりになるのではないかと感じています。</p> <p>SAYAKAホールは、既にクラシックや有名歌手のコンサート・吹奏楽演奏・ミュージカル等を取り上げており、年間の利用度が約80～90%に近いと聞いています。大阪狭山こどもフェスティバル・狭山芸術祭等、市民向けの催しをかなり工夫して実施しています。近隣市と協議会を設け、定期的にリレーコンサート等も持ち回り開催するとともに、他市の催しチケットも共有で買えるように工夫しています。</p>

質問・意見など	回答・意見など
	<p>P T Aの皆さんや子どもたちが、狭山池築造1400年記念事業実行委員会組織に何か一つのものを集約いただけたら、ありがたい。アイデアとか、当日手を貸してあげるよとか、協力し合おうということが必要です。何か気づいたら、ご意見をいただきたい。</p> <p>大阪狭山市を知っていただき、見てもらう必要があります。「来たいまち」で世界一になった京都市長のお話では、「市長として私は何もしていません。ただ、『自分の家の前だけ毎朝見て、ごみの清掃だけをしてください』と4年間訴えた。4年間積み重ねた結果が、世界一になった」と聞きました。市民全部が実施することが大事です。P T Aの皆さんも子どもたちも含めて、意見を出し合って、自分たちのまちをみんなの手できれいにしていこうという気持ちになっていただければいいと思います。</p>
<p>大阪狭山市のシンボルと言えるべき、近大病院が今回移転ということで、それに伴うデメリットは、今後、どのように影響が出るでしょうか。</p> <p>また、市の人口が高齢化に対して、新しい若い世代を呼び込むような近大病院に変わる商業施設の誘致などは議会のほうで検討案は出ているのでしょうか。</p>	<p>近畿大学医学部と附属病院が平成35年（2023年）に堺市泉北ニュータウンへ移転するという基本協定が本年7月16日に結ばれています。この基本協定では、移転後も南河内地域における基幹病院として、救急医療、周産期医療等の役割を果たすとともに、地域医療の提供、充実に積極的に取り組むこととしています。再編構想の策定については、現在、近畿大学、大阪府、堺市の3者に本市も加わり、協議を進めている最中です。具体的なデメリットの部分の判断は、現時点では難しいと考えています。</p> <p>現在進められている協議の状況を踏まえ、近大医学部跡地のまちづくりについて、少子高齢化の中で、子どもからお年寄りまで、生き生きと暮らしていけるような活用方法を皆様とともに検討していきたいと考えています。</p>
<p>市内巡回バスの本数をもう少しふやしてほしいという声が上がっています。利用者の数とその兼ね合いで本数、決まっていると思うんですが、本数が少なくて不便だから乗る人が少ないのか、乗る人が少ないから本数が今ぐらいになっているのか。</p> <p>だんじりの祭りは、楽しみにしている人が多いので、続けてほしい。ただ、拡声機を使ってスピーカーでガンガン音を鳴らしているところがある。時期的に中学校の試験期間と重なるため、時間帯を制限してほしい。</p>	<p>循環バス事業は、当初片方回りでしたが、両回り運行により利用者がふえました。平成17年に4ルート、西と北ルートを統合して3ルートに見直しています。議会の事務事業評価で、ルート拡充や始発・最終時間の延長、市民要望に沿ってできる限り充実に努めること、沿線住民にアンケート調査を行うこと、公募市民による検討会議を立ち上げてルート・時間・運賃の見直しを検討すること等のコメントを出しています。</p> <p>だんじりの拡声機に関しては、具体的に苦情を除去できるよう、祭りの地域、地区と祭りの実行委員会で話し合ってくださいいただくことが必要ではないかと思っております。</p>

質問・意見など	回答・意見など
<p>公園とか、球技ができる広場が少ないという声が上がっています。私も息子が小学校のときに、ソフトボールをやらせていただき、日曜日に大変お世話になりました。ソフトボールなんかをやろうとすると、小学校とかのグラウンドを借りるしかない。ただ、小学校は小学生が優先的に使えるのかと思うと、大人のチームも使いたいと入ってきて、なかなか自由に使えず、練習したいときにできない。</p>	<p>議会質問では「さやか公園等の広い公園では、ご高齢の方や小さいお子さんも多い。そういうところで、ボール投げやバットを振ったりすると、危険もあり止めている」という答えです。子ども議会では「放課後や土・日曜日の校庭、体育館等の利用を工夫し、子どもたちが安心して遊べる場所をつくっていききたい」と答えています。学校開放運営委員会の野球やサッカー等とのバッティングがあるので、この整理は必要です。「平日子どもたちが学校でいる時間帯はご高齢の方がゲートボールをされ、例えば、2時とか3時から夕暮れチャイムの5時ぐらいまでは、子どもたちの時間に作る時間区分をしてはどうか」と議員同士で話しています。</p>
<p>歩道のない道路が多く、歩道を整備してほしい。歩道があっても、がたがたになっていて、走りにくい。ベビーカーであっても押していくと、つかえたりするようなどころがある。</p> <p>暗い道の対策ということで、市内に街灯の少ないところが、例えば、ライオンズマンションと第三中学校の間の道、また公園など、あちこちにあります。そういうところが暗いと、たまり場になりやすい。大阪狭山市は比較的治安のいいほうですが、油断しますと、そういうところから、治安も悪くなる可能性があるということで、ご質問させていただきます。</p> <p>滑りやすい道の対策と言うことで、雨が降ると、つるつるになって滑りやすいところがある。子どもだけでなく、全ての住民の安全・安心について、どのような方向で確保していこうとお考えなのかをお尋ねさせていただきます。</p>	<p>子ども、高齢者、身体障がい者の方やいろんな方の安全を守る点で大切な問題提起です。歩道の確保には、一定の道幅が必要です。既に家が建っていたり、用地買収が大変だったり、いろんな悩ましい点があり、長期的な問題でいかざるを得ない。大野地区でも長年かかりましたが、理解を得ながら、ちよつとずつ歩道を確保したところもあります。</p> <p>暗い道の対策では、見通しをよくするのが一番です。必要な所や暗い場所の街灯設置を市に申し出るとか、木などが茂っているとカットしてもらうこと、たまり場については、根本的な解決にならないが、警察の巡回を強めるということを重ねていくしかないと思います。先日も、木が茂っていたところ、学校でそれをカットして見通しよくしてもらい、改善できたと聞いていますので、PTAの方々にそういう点も頑張ってもらいたいと思います。</p> <p>滑りやすい道路、これはもう論外で、本当に危ないですから、早く直していかなくてはならないと思います。小学校からも、市に要望してもらったらどうかと思います。</p>
<p>大阪狭山市の魅力は、年代・地域・性別によって違います。地域コミュニケーション、安心安全なまち、活動的に動いている人、歴史のある狭山池、子育てしやすいまち、防犯防災意識が高い、見守り隊の方たち、小中学校の学校完全給食という魅力キーワードが意見に上がっています。この魅力を高めるために、地域で活動している人たちがたくさんおられる。ただ、その活動している人たちの中に、若い世代がなかなか目につかない。だから、今後は年齢に関係なく、若い世代が魅力づくりにかかわれる体制づくりを行政としても考えてほしいということについてご質問したいと思います。</p>	<p>本市では市民協働を進め、地域の方々がまちづくりに参加しやすい状況になってきていますが、若い世代は大変少ない状況です。若い世代に聞くと、「仕事の帰りが夜9時ぐらいで、その後なら参加はするが、7時から開催される会議には参加できない」と伺った。総務省のホームページでも、ソーシャルメディアが人と人との行動を媒介して、地域コミュニティの問題解決の一助となった例がございます。今後はこのICTを地域拠点である自治会・地区会などへ導入できるよう環境を整えていければいいと思います。スマホや携帯端末などで、いつでもどこでも、地域活動に参加可能なシステム構築をしていかなければならないと考えています。</p>

質問・意見など	回答・意見など
	<p>働く世代が仕事から帰ってきて、そういったところに参加するのなかなかしんどいのも現実です。今、ご高齢のボランティアの方に非常に支えられている部分が多いので、私も一市民として積極的に参加をしないとだめだと思っています。</p> <p>大阪府の青少年健全育成条例とか、大阪狭山市では、ラブホテル、パチンコの建設には一定、規制がかかり、教育等も非常にやりやすい。面積も小さく、人口的に過密の都市ではないので、トータル的に住みやすい。ご高齢の方から子どもさんにとっても、住みやすいまちであると皆さんに理解をされています。これから5年後、10年後、どうなっていくのかも考えながら、住みやすいまちにしていきたいために、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。</p>
<p>大阪狭山市PTA連絡協議会と大阪狭山市議会の連携について、今後も子育て世代の意見を聞いてもらえる場として、テーマを決め、定期的に意見交換会を開いていただければと思います。市議会としては、今後の連携について、どう考えておられるかと、この意見交換会で出された意見、質問等を議会運営によりよい形で反映していただけるかを質問します。</p>	<p>よりよいまちづくりをめざし、議会でもこの意見交換会を、議会運営に反映していく方向で考えます。PTA保護者からのまとまった意見、総意としての意見は、議員に入らないことがありますので、こういう交流会で直接、まとまった意見を聞くというのは非常に重要です。ぜひ、続けていくと同時に、議員もこういう機会に十分、自分の意見を言い、人の意見も聞くべきだと思います。</p>
<p>両親が共働きの場合で、近くに子育てに協力してくれる両親がいらっしゃらない家庭は、子どもが体調を崩してしまうと、お母さんが働けなくなる。子どもを引き取りに来てくださいということで、仕事をしていても、帰らなくちゃいけないとか、子どもを引き取って面倒見ないといけない。それに対して、かなりの大病ならしょうがないが、ちょっと熱を出した子どもを一時預かりしてもらえる支援、医療機関とコラボレーションするとか、そういう支援は何か考えてもらえないんですか。</p>	<p>病児保育について、議会で質問した市の回答では、小児科のある病院と保育免許を持たれた子どもを見れる環境の両方がないと継続しない状況です。市内の小児科で、保育所が併設という、すごく難しい。近大に看護師さん用の保育所施設があり、一般にも使えるようにできないかと提案しています。今後、この問題に取り組み、実現に向けていきたいと思っています。</p> <p>ファミリーサポートセンターと事前に契約をして、引き取りといった形をお願いすると、お仕事の時間的に遅くなる方は保育所の引き取りをしていただいて、一時、家で預かってもらって、また、自分が帰る時刻に引き渡しをされている。病児保育そのものは、かなり難しい面がありますので、議会としてもみんなで考えていきたいと思っています。</p>
<p>意見交換会があるということで、各小中学校のPTAから意見を吸い上げ、でき上がったのがこの資料になっています。今回、代表で質問していますが、質問に答えていただけてない項目もあります。そういうのも議会として、今後こう取り組んでいきますという回答がほしい。各単位PTAへ報告するとき、今回の意見交換会でおっしゃっていただいたこと、議事録か何かほしいんです。そうすると、PTAにフィードバックできると思うんです。</p>	<p>事前打ち合わせで、時間の問題もあり、全ての質問に答弁は物理的に無理なので、各学校で絞っていただいた上で、回答ということで了解いただき、決めさせていただきました。打ち合わせで、そういうことになっていたのも、ご理解いただけたらと思います。第1回という初めての試みで、全ての議員に目を通していただくという目的で、出していただいた意見質問は全て、資料に記載しています。議会という立場で答えられること、答えられないことも当然あります。せっかく出していただいたのに、反映されてないって、どうかなと思っていましたので、</p>

質問・意見など	回答・意見など
	その辺、各単位P T Aに説明していただいて、ご理解いただいた上で、今後よりよい方向で意見として取り上げてさせていただきたいと思います。

大阪狭山市議会と大阪狭山市P T A連絡協議会は、より良いまちづくりのために共に協力連携することで、まちづくりの促進や青少年健全育成の充実を図るという共通認識のもと、今後も継続して意見交換会を実施していきたいとの合意を得ました。

今回の意見交換会の開催に当たっては、下記のとおり運営会議を開催しました。

記

1. 平成26年 9月12日(金) 午後7時から 市役所 第1会議室
(西尾浩次市議会議長・中井新子議会改革特別委員会委員長)

◎市PTA連絡協議会に依頼

2. 平成26年10月29日(水) 午後7時から 市役所 議長室
(市議会) : 西尾浩次議長・中井新子議会改革特別委員会委員長
(市PTA連絡協議会) : 田中將貴会長・谷直記副会長

◎目的・テーマ、質問の内容等について

3. 平成26年11月26日(水) 午後7時から 市役所 議長室
(市議会) : 西尾浩次議長・中井新子議会改革特別委員会委員長
(市PTA連絡協議会) : 田中將貴会長・谷直記副会長

◎質問の集約、当日の運営について

4. 平成27年 1月13日(火) 午後7時30分から 市役所 議長室
(市議会) : 西尾浩次市議会議長・中井新子議会改革特別委員会委員長
(市PTA連絡協議会) : 田中將貴会長・谷直記副会長・河盛聡書記・川口寿裕会計

◎意見交換会の評価と反省、今後について